

○ 重点実践事項に基づいた評価

重点実践事項	評 価 項 目	評 価
1 障害の重度・重複化及び多様化に対応する教育課程の編成と実践	(1) 学習指導要領の趣旨を生かした一人一人の実態に応じた弾力的な教育課程の編成及び見直しを推進しているか。	3. 2
	(2) 小・中一貫した指導と児童生徒の実態を踏まえた生きる力を育む教育活動を実践しているか。 (「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成及び活用)	3. 1
2 本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進	(1) 検証授業及び効果的な授業研究の実施による確かな授業改善につながる研究を推進しているか。	3. 1
	(2) 特別支援教育における専門性の向上を図る研修は充実しているか。 (自立活動や外部専門家を活用した研修, 教材・教具の開発と工夫・改善)	3. 5
3 健康状態の維持・改善や安全対策及び危機管理体制の充実	(1) 多様な指標に基づくきめ細かな健康観察は充実しているか。また, 教育活動に生かす健康相談を実施しているか。	3. 6
	(2) 家庭及びやまびこ医療福祉センターと連携した効果的な感染症対策を推進しているか。	3. 7
	(3) 安心・安全な医療的ケアを実施しているか。また, 医療的ケア体制は充実しているか。	3. 8
	(4) 状況に応じた緊急時対応を推進しているか。 (緊急時対応の見直しや災害時対応の整備と見直し)	3. 4
	(5) 安全点検に基づく安心・安全な学習環境を整備しているか。	3. 5
4 地域における特別支援教育のセンター的機能の推進と信頼される学校づくり	(1) 支援の必要な子供やその保護者, 関係者に対する教育相談は充実しているか。	3. 3
	(2) 巡回相談等による専門性を生かした指導や支援を推進しているか。	3. 5
	(3) 学校だよりや P T A だよりなどによる情報を発信しているか。	3. 5
	(4) 交流及び共同学習を推進しているか。 (地域の小・中学校や施設・団体, やまびこ医療福祉センターや鹿児島養護学校)	3. 4
5 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進	(1) 児童生徒の将来を見据えたキャリア教育を実践しているか。	2. 9

※ 評価は「4：十分達成できている」「3：おおむね達成できている」「2：やや不十分である」「1：不十分である」の4段階で実施。

<まとめとして>

- 全体的におおむね「達成できている」という結果が出ている。
- 実践事項3「健康状態の維持・改善や安全対策及び危機管理体制の充実」に関してはポイントが高い。
 - ・ 感染症対策については, 家庭ややまびこ医療福祉センターと連携して児童生徒の健康状態を把握しながら, 予防のためのマスク着用や登校前の清掃を行い, 病原菌を持ち込まない・持ち出さない取組を続けている成果だと考える。今後も本校にとって重要な実践項目であることを深く認識し, 衛生面からの意義を高めるためにも登校前の清掃の方法等, 職員間で共通理解を図り取り組んでいきたい。
 - ・ 医療的ケアの体制については, 日頃から児童生徒の安全や健康について看護師との協力体制が培われている成果だと考える。また, 今年度から医療的ケア委員会に学校医も参加していただいている。委員会を通して更に医療的ケア体制の充実を図っていきたい。
- 実践事項4「地域における特別支援教育のセンター的機能の推進と信頼される学校づくり」では, 新たな評価項目として「学校だよりや P T A だよりなどによる情報発信」に取り組んでいる。学校だよりや P T A だよりを計画的に発行するとともに, ホームページをリニューアルしたり, 学校ブログを立ち上げたりしたことが評価につながっていると考えられる。
- 実践事項5「肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進」に関してはポイントが低い。
 - ・ 今年度は, 評価項目として具体的に「キャリア教育の実践」を掲げて取り組んでいる。中学部では作業学習が始まり, 本校の児童生徒にとってのキャリア教育について, 職員それぞれが意識しながら取り組んでいる段階である。個々の職員のキャリア教育についての意識が評価に表れていると考えられるが, 2学期以降, 具体的な研修等も計画しており, キャリア教育の啓発・推進に努めていきたい。